

概 況

平成23年1～3月期の出荷数量は、前年同期に比べ、土木向けは減少、建築向けは増加し、12,710.3千 m^3 、前年同期比▲4.1%の減少となった。

1. 需要先別の動向

土木向けは5,664.0千 m^3 、前年同期比▲15.9%の減少となった。このうち鉄道・電力向けは503.3千 m^3 、同29.6%増加したものの、港湾・空港向けが450.4千 m^3 、同▲34.2%、道路向けは1,589.1千 m^3 、同▲20.4%の減少、その他向けは3,121.2千 m^3 、同▲14.8%の減少となった。

建築向けは7,046.3千 m^3 、同8.1%の増加となった。このうち官公需向けは1,170.0千 m^3 、同▲8.3%と減少したものの、住宅向けは3,476.3千 m^3 、同12.7%の増加、非住宅向けも2,400.0千 m^3 、同11.5%といずれも増加となった。

2. 地域別の動向

経済産業局(沖縄は内閣府沖縄総合事務局)別にみると、北海道は360.5千 m^3 、前年同期比▲22.2%の減少となった。このうち土木向けは236.5千 m^3 、同▲31.9%の減少となったが、建築向けは124.0千 m^3 、同7.0%増加した。内訳をみると、住宅向け(同50.1%)、非住宅向け(同5.9%)などが増加したものの、港湾・空港向け(同▲32.5%)、道路向け(同▲31.3%)、官公需向け(同▲28.3%)などが減少した。

東北は789.3千 m^3 、同▲24.4%と3月の東日本大震災の影響で大幅に減少となった。このうち土木向けは449.3千 m^3 、同▲31.5%の減少、建築向けも340.0千 m^3 、同▲12.4%の減少となった。鉄道・電力向け(同47.1%)と非住宅向け(同9.7%)が増加したものの、港湾・空港向け(同▲52.9%)、道路向け(同▲37.6%)、官公需向け(同▲33.8%)などが大幅に減少した。

関東は4,740.9千 m^3 、同0.6%と2期連続増加した。このうち土木向けは1,558.7千 m^3 、同▲16.3%の減少、建築向けが3,182.2千 m^3 、同11.6%と増加し、土木の減少を補った。増加したのは、鉄道・電力向け(同21.1%)、住宅向け(同19.5%)、非住宅向け(同11.1%)などであり、港湾・空港向け(同▲50.1%)、道路向け(同▲15.3%)、官公需向け(同▲13.3%)などは減少した。

中部は1,513.8千 m^3 、同3.2%と2期連続増加した。このうち土木向けは781.0千 m^3 、同▲2.9%の減少、建築向けは732.8千 m^3 、同10.6%と2期連続増加となった。港湾・空港向け(同▲19.9%)、道路向け(同▲9.6%)などが減少したが、鉄道・電力向け(同34.7%)、住宅向け(同6.5%)、非住宅向け(同21.6%)などが増加した。

近畿は1,465.5千 m^3 、同▲1.9%の減少となった。このうち土木向けは672.6千 m^3 、同▲0.9%の減少、建築向けも792.9千 m^3 、同▲2.7%の減少となった。鉄道・電力向け(同91.7%)、港湾・空港向け(同2.3%)が増加し、官公需向け(同▲6.1%)、その他向け(同▲7.3%)、などが減少した。

中国は1,018.1千 m^3 、同▲7.9%の減少となった。このうち土木向けは553.7千 m^3 、同▲19.1%の減少、建築向けは464.4千 m^3 、同10.2%と3期連続増加となった。鉄道・電力向け(同164.3%)、住宅向け(同13.1%)、非住宅向け(同17.0%)などが増加したものの、港湾・空港向け(同▲21.9%)、道路向け(同▲32.6%)などが減少した。

四国は732.5千 m^3 、同▲8.4%の減少となった。このうち土木向けは410.8千 m^3 、同▲21.8%の減少、建築向けは321.7千 m^3 、同17.2%と2期連続増加となった。鉄道・電力向け(同137.7%)、官公需向け(同46.9%)、非住宅向け(同24.7%)が増加したものの、港湾・空港向け(同▲38.8%)、道路向け(同▲35.6%)などが減少した。

九州は1,726.4千 m^3 、同▲1.9%の減少となった。このうち土木向けは912.5千 m^3 、同▲14.6%の減少、建築向けは813.9千 m^3 、同17.6%と3期連続の増加となった。官公需向け(同31.8%)や住宅向け(同15.8%)、非住宅向け(同11.8%)などが増加し、鉄道・電力向け(同▲16.1%)、港湾・空港向け(同▲20.5%)、道路向け(同▲19.2%)、その他向け(同▲11.6%)などが減少した。

沖縄は363.1千 m^3 、同▲9.6%の減少となった。このうち土木向けは88.8千 m^3 、同▲17.0%、建築向けも274.3千 m^3 、同▲6.9%とともに減少した。鉄道・電力向け(同473.4%)、住宅向け(同6.4%)、非住宅向け(同29.4%)などが増加したものの、港湾・空港向け(同▲22.9%)、道路向け(同▲29.7%)、官公需向け(同▲39.7%)などが減少した。

3. 月別の動向

月別に出荷動向をみると、1月が3,841.1千 m^3 、前年同月比▲3.8%の減少、2月が4,494.8千 m^3 、同▲1.2%の減少、3月が4,374.3千 m^3 、同▲7.1%の減少と、震災の影響で3月の減少幅が大きかった。

このうち土木向けは、1月が1,730.0千 m^3 、同▲18.1%の減少、2月が2,089.3千 m^3 、同▲13.9%の減少、3月は1,844.6千 m^3 、同▲16.0%の減少となった。

建築向けは、1月は2,111.1千 m^3 、同12.4%、2月は2,405.5千 m^3 、同13.3%、3月も2,529.7千 m^3 、同0.6%と各月ともに増加となった。

4. 設備能力及び従業員数

3月末の全国のプラントの基数は1,880基で、前期末(22年12月末)より36基の減少、前年同期末(22年3月末)より119基減少した。月間生産能力は49,408千 m^3 、前年同期比▲5.9%の減少となった。

3月末の従業者数は、22,467人、前年同期末より1,953人(▲8.0%)減少となった。